

ネパール国
結核対策プロジェクト（ ）
巡回指導調査団報告書

平成 10 年 3 月

国際協力事業団
医療協力部

序 文

ネパール国結核対策プロジェクト()は、平成6年7月から5年間の協力期間において、同国の推進する国家結核対策プログラム(NTP)の活動を強化することにより、同国における公衆衛生および福祉の改善に寄与することを目的として協力が開始されました。

このたび、協力開始後3年5カ月あまりの時点で、これまでの活動内容を確認し、本プロジェクトにかかわる専門家とカウンターパートに必要な助言を提供し、また、本プロジェクト当初の目標を達成するために必要な事項を同国側関係者と協議するため、国際協力事業団は平成9年12月7日から12月18日までの日程で、当事業団医療協力部医療協力第一課課長橋爪章を団長として、巡回指導調査団を派遣しました。

本報告書は、上記調査団の調査結果を取りまとめたものです。ここに、本調査にご協力を賜りました関係各位に深甚なる感謝の意を表しますとともに、本プロジェクトの実施運営に対しまして、さらなるご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。

平成10年3月

国際協力事業団
医療協力部長 **福原 毅文**



プロジェクトチームとの打合せ風景。プロジェクト専門家より活動報告が行われた。



西部地域タライ地区のヘルスポスト視察風景。写真中央がR T C（西部地域結核センター）所長代行のバルマ医師。

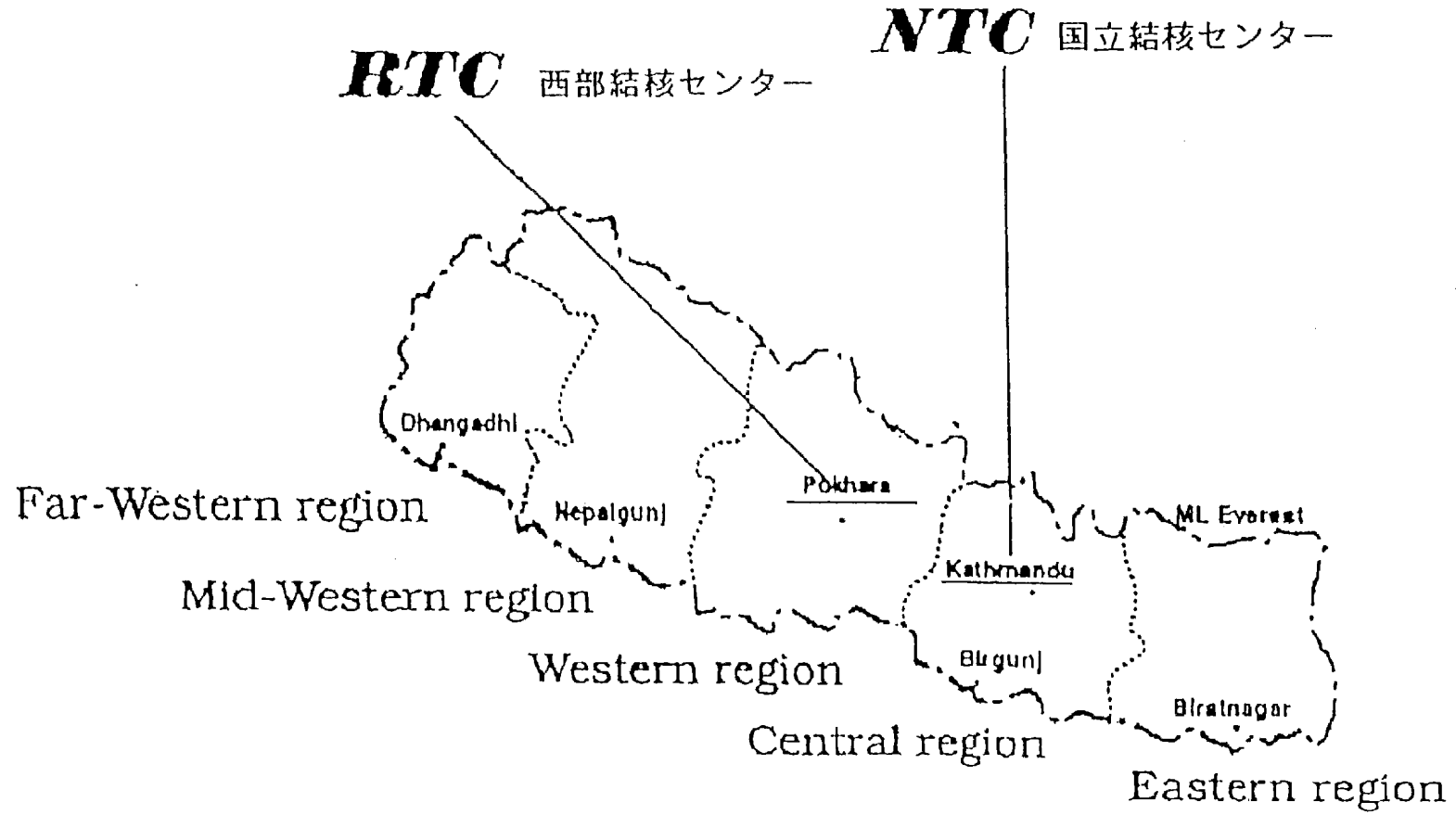


合同調整委員会でのワークショップ風景。プロジェクト活動のレビューをZOPP手法により行った。



橋爪団長（写真右）とポーデル保健省次官（写真左）との間でミニッツに署名・交換が行われた。

ネパール地図



目 次

序 文
写 真
地 図

1 . 巡回指導調査団派遣	1
1 - 1 調査団派遣の経緯と目的	1
1 - 2 調査団の構成	1
1 - 3 調査日程	2
1 - 4 主要面談者	3
2 . プロジェクトの活動状況、計画の進捗状況	5
2 - 1 国立結核センター（NTC）および西部地域結核センター（RTC）	5
2 - 2 専門家派遣	7
2 - 3 機材供与	7
2 - 4 NTP要員の育成	9
2 - 5 結核対策推進体制の整備	10
2 - 6 ロジスティックス管理体制の確立	11
2 - 7 菌検査精度の向上	12
2 - 8 DOT Sによる治療成績の向上	13
2 - 9 他の結核対策援助機関の調整	15
3 . 今後のプロジェクトの活動計画	18
3 - 1 NTP運営	18
3 - 2 研修と監督	18
3 - 3 DOT S戦略の推進	18
3 - 4 抗結核薬のロジスティックス	19
3 - 5 菌検査	19
3 - 6 アドボカシー	20
3 - 7 その他（技術的助言）	20

4 . 合同調整委員会の勧告	21
----------------------	----

附属資料

The Minutes of Discussions	25
----------------------------------	----